【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年3月13日(2025.3.13)

【公開番号】特開2025-26572(P2025-26572A)
【公開日】令和7年2月21日(2025.2.21)
【年通号数】公開公報(特許)2025-033
【出願番号】特願2024-213235(P2024-213235)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ 16/28(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ 16/28　　ＺＮＡ
Ｃ０７Ｋ 16/28

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月5日(2025.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ａ）ネクチン－２に結合する抗体であって、
（ｉ）ＨＣ　ＣＤＲ１のアミノ酸配列がＲＦＴＭＳ（配列番号１）であり、ＨＣ　ＣＤＲ２のアミノ酸配列がＴＩＳＳＧＧＳＹＴＹＹＰＤＳＶＫＧ（配列番号２）であり、ＨＣ　ＣＤＲ３のアミノ酸配列がＤＲＤＦＹＧＰＹＹＡＭＤＹ（配列番号３）であり、ＬＣ　ＣＤＲ１のアミノ酸配列がＫＳＳＱＳＬＬＮＳＧＮＱＫＮＹＬＡ（配列番号４）であり、ＬＣ　ＣＤＲ２のアミノ酸配列がＦＡＳＴＲＥＳ（配列番号５）であり、ＬＣ　ＣＤＲ３のアミノ酸配列がＱＱＨＹＴＴＰＬＴ（配列番号６）である、６つのＣＤＲのセット；
（ｉｉ）ＨＣ　ＣＤＲ１のアミノ酸配列がＳＹＷＩＨ（配列番号１１）であり、ＨＣ　ＣＤＲ２のアミノ酸配列がＡＶＹＰＧＮＳＤＳＮＹＮＱＫＦＫＡ（配列番号１２）であり、ＨＣ　ＣＤＲ３のアミノ酸配列がＬＶＧＴＦＤＹ（配列番号１３）であり、ＬＣ　ＣＤＲ１のアミノ酸配列がＫＡＳＱＮＶＧＩＮＶＶ（配列番号１４）であり、ＬＣ　ＣＤＲ２のアミノ酸配列がＳＡＳＹＲＹＳ（配列番号１５）であり、ＬＣ　ＣＤＲ３のアミノ酸配列がＱＱＹＮＴＮＰＦＴ（配列番号１６）である、６つのＣＤＲのセット；
からなる群から選択されるＣＤＲセットを含む、抗体と、
（ｂ）リンカーを介して前記抗体に結合された細胞毒性物質と、
を含むコンジュゲート。
【請求項２】
前記抗体が、配列番号７または配列番号１７のアミノ酸配列を有する重鎖可変領域を含む、請求項１に記載のコンジュゲート。
【請求項３】
前記抗体が、配列番号８または配列番号１８のアミノ酸配列を有する軽鎖可変領域を含む、請求項１～２のいずれか一項に記載のコンジュゲート。
【請求項４】
前記抗体が、配列番号７のアミノ酸配列を有する重鎖可変領域と、配列番号８のアミノ酸配列を有する軽鎖可変領域と、を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載のコンジュゲート。
【請求項５】

前記抗体が、配列番号１７のアミノ酸配列を有する重鎖可変領域と、配列番号１８のアミノ酸配列を有する軽鎖可変領域と、を含む、請求項１～４のいずれか一項に記載のコンジュゲート。

【請求項６】

前記抗体が、ヒトネクチン－２と10^{-9}Ｍ～10^{-11}Ｍの親和性で結合する、請求項１～５のいずれか一項に記載のコンジュゲート。

【請求項７】

請求項１～６のいずれか一項に記載のコンジュゲートと、薬学的に許容される賦形剤、希釈剤、塩、または担体と、を含む医薬組成物。

【請求項８】

対象におけるネクチン－２を発現する癌の治療における使用のための、請求項７に記載の医薬組成物。

【請求項９】

前記使用が、手術、化学療法、放射線療法、および免疫療法から選択される追加の抗癌療法をさらに含む、請求項８に記載の医薬組成物。

【請求項１０】

前記使用が、追加の免疫調節剤、活性化リンパ球細胞、キナーゼ阻害剤、化学療法剤、または任意の他の抗癌剤を投与することを含む、請求項８に記載の医薬組成物。

【請求項１１】

前記追加の免疫調節剤が、免疫チェックポイント分子に対する抗体である、請求項１０に記載の医薬組成物。

【請求項１２】

前記追加の免疫調節剤が、ＰＤ－１に対する抗体である、請求項１０に記載の医薬組成物。

【請求項１３】

前記ネクチン－２を発現する癌が、固形癌である、請求項８に記載の医薬組成物。

【請求項１４】

前記ネクチン－２を発現する癌が、血液癌である、請求項８に記載の医薬組成物。

【請求項１５】

前記使用が、対象における転移の形成、増殖、または拡散の防止または低減をもたらす、請求項８に記載の医薬組成物。